

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年2月5日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|--------------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 諏訪市 | 代表者名 | 諏訪市長 金子ゆかり |
| 担当者部署 | 企画部 | 連絡先電話番号 | 0266-52-4141 |
| 担当者役職 | | 担当者氏名 | |
| 住所 | 392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 | | |

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 伊藤 文徳 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 同じ自治体職員の間で基礎知識からGISを応用した場合の活用方法を視覚的に説明いただくなど、オープンデータについて初心者の職員が多い中、大変有意義な研修であった。冒頭でのアイスブレイクや、インターネットで質問できるサービスを取り入れていただき、参加者も講演をより自分事として捉えることができた。特に、オープンデータを活用した課題解決や業務効率化の例として、当市にも通じており、イメージしやすい事務を取り入れていただき、職員のアイデア醸成の意欲についても養っていただけたと思っている。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 具体的にオープンデータを推進する際、更なる助言をお願いしたい。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| | 派遣日 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|-----------|------------|----------------------------|--------|----------|---------|
| 3-1. 活動 | 2020年1月29日 | 9時00分 | 16時00分 | 90 | 330 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 諏訪市役所(又は駅前交流テラスすわっチャオ) | | 最寄駅 | 上諏訪駅 |
| | 所在地 | 諏訪市高島1-22-30(又は諏訪市諏訪1-6-1) | | | |
| | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | | | |

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

| | |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|----------------|-------------------------|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 29人 |

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

| | |
|---|---|
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) | 長野県では、100%の市町村がオープンデータに取り組むよう、情報政策担当者向けに研修を開催し、まずは一つのデータからオープンデータの推進を図っている。しかし、市としてはオープンデータに取り組むにあたって目的等を定めているわけではないため、すぐに取り組むのではなく、庁内共有を図る時間が必要と感じている。また、各データを管理する担当者がオープンデータに関して理解を深める必要があると感じている。 |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい) | 今回、国の示すオープンデータ推奨データセットを担当する職員及びオープンデータ化に興味を示す積極的な職員を募集対象としている。スモールスタートになると思うが、最初にオープンデータ化検討を担当する職員が対象になるため、この機会に職員の理解が深まり、具体的なイメージができることを目指す成果としたい。 |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい) | 「会津若松市におけるオープンデータの取組」と題し、オープンデータとは何かから、取り組むメリット、会津若松市+@の事例を紹介いただいた。当市はオープンデータに関する知識が乏しく、オープンデータとは何かの部分丁寧に説明いただきたい旨、また、情報公開請求やホームページ掲載との違い、どんなデータをオープンデータ化していけばよいか等の要望をお伝えさせていただき、講演を通じて支援いただいた。午後についてはオープンデータを中心に個別相談により支援いただいた。 |
| 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい) | 会津若松市ではオープンデータの取組にもGISを活用しており、今回の講演においてもGISを活用した事例を視覚的かつわかりやすく説明いただいたため、参加者の理解が深まった。また、共通して理解ができる自治体職員の事務を例に挙げることでイメージもしやすかった。オープンデータを取り組む際、主体的となる企画政策課の立場においても、更なる展開をするための体制づくりや担当職員へのフォローアップ方法等、参考になった。 |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 担当職員のオープンデータに対する知識が醸成された。 |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください) | 具体的に進める際の手法・手順。 最初にオープンデータ化する際に必要となる手順や、取り組み後の更なる展開についてどういった活動をしていけばよいか、その時期になれば個別に連絡をとりながらアドバイスをいただきました。 |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 オープンデータの理解度、担当として取り組む場合のイメージや懸念事項を調査した結果、アイデアや推進方法等について講演内容以外の部分も意見をもらった。実際に取り組む際、各担当者が取り組みやすいよう考慮していきたい。 |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるもののリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | 国及び県の指導によりやらされ感でオープンデータに取り組むのではなく、課・係・自身で考え、担当者が意欲的に取り組む姿を目標としたい。 |

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

